

「松茂中プライドプロジェクト」について

本校のめざす生徒像は4月以降、西田生徒指導主事より「生徒指導だより」を通じて、その意味について伝えてもらいました。めざす生徒像に重要な意味をもたせ、具体的実践内容を示すことで、生徒が、生徒像を学校生活の中で、より意識できるようなものにするのがねらいです。

また、この5本の柱を核として、学習活動・部活動・生徒会活動・地域の活動等へと広がっていくことが、生徒個々のよりよい成長につながる（心づくり教育の実現）と考えます。

そのためには、生徒一人一人に母校「松茂中学校」を自分自身にとって、誇りある学校にする当事者となる意識をもたせることが求められます。

そこで、生徒指導だよりにおいて、意味づけした生徒像の具体的な行動指針を次に示します。

①「礼儀正しく きまりを守り 正しく生きる生徒」とは

あいさつ・言葉づかい・時間・服装等を大切にする（礼儀正しくきまりを守る）人は、社会から信頼されるとともに、たくさんの人との出会いにつながります。そこから様々な生き方を学び、自らがなりたい自分に向けて生きる（正しく生きる）ようになります。

②「自他の生命を尊重し 人権を重んじ 助け合う生徒」とは

すべての人が幸せな人生を送り、自分を含め一人一人を大切にする（自他の生命を尊重）ためには、まず自分自身がいじめや差別を許さない（人権を重んじる）人間でなければなりません。このかけがえのない時間を、大切な仲間とともに常に支え合いながら（助け合う）正しい生き方を求めて、学び続けましょう。

③「創造的な知性を磨く生徒」とは

生活の中で発生する問題を解決するためには、自分なりの視点から解決策を見つける力（創造的な知性）が必要です。そして、その力は自分の考えをしっかりともち、表現するとともに、仲間と知恵を絞って行動する（磨く）ことで成長していくのです。

④「体を鍛え よく働く生徒」とは

生活の質の向上は、体育の授業や部活動をとおして健やかな体をつくり（体を鍛え）、クラスやまわりの人のために、ひたむきに一生懸命に行動すること（よく働く）で実現し、自分の中に秘められたすばらしい能力を引き出すことが期待できます。

⑤「郷土を愛し 地域社会に奉仕できる生徒」とは、

誰かのために何かができたり（地域社会に奉仕）、誰かがしてくれたことに感謝ができる人は、誰からも応援され、好かれる人になるでしょう。それは自分に自信と誇りがもてるようになるだけでなく、そこで生活するすべての人を大切にする気持ち（郷土を愛する）につながります。それこそが「松茂中プライド」なのです。

このめざす生徒像を実現するために、生徒一人一人が取り組む具体的実践を「松茂中プライドプロジェクト」と名付け、生徒自らが

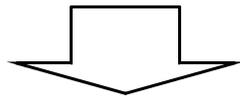
- ① 「めざす生徒像とは何かを理解すること」→ 『生徒指導だより』
- ② 「なりたい自分をイメージすること」→ 『夢・未来・目標実現シート』
- ③ 「夢の実現のために何をすべきかを考え実行すること」→ 『アクションプラン』

を全生徒で取り組ませたいと思います。

このプロジェクトの実現に向けて、とくに生徒会本部役員の生徒たちが担う役割は非常に重要です。生徒の意見や要望をできる限り形にする取組を推進することで、誇りある学校にする当事者となる意識を持たせることにつながるとともに、生徒が学習活動、部活動等において自信と誇りをもち、学校生活を送るための後ろ盾になると考えました。

生徒会を中心とした「松茂中プライドプロジェクト」の推進

- 生徒会担当教員・生徒指導主事・各学年生徒指導を中心に企画・運営・情報発信
- 生徒会本部役員や学年リーダーを中心に、課題を解消するための活動について議論



松茂中プライドプロジェクト第1弾

アクションプラン①「松茂中公認キャラクター」の考案とグッズ作成

まず全校生徒から、「松茂中公認キャラクター」のデザインを募集します。町の公認キャラクター「松茂係長」に負けない本校らしいデザインを考えてもらいます。そして、生徒が考案した中から、投票により選出し、1つを決定します。さらに本校のキャラクターをアピールするために、グッズ（クリアファイル）を作成します。愛校精神の涵養や所属意識の高揚を目指し、毎年全校生徒・全教職員に配布します。



(松茂係長)

アクションプラン②「ゆめ・ミライ実現シート」の活用

夢の実現は、まず書くことから始まります。なりたい自分を思い描き、「ポートフォリオ」に書き記します。目標設定・達成度、さらに、心のコップ（まけまけいっぱい）等、自分の成長を確認できる内容です。これを松茂中の生徒指導の核となるものとして、日々の生活の中で重要なツールにしたいと思います。